

## 総合事業の必要性

BANK

私たちJAグループの目指すものは、総合事業を営む協同組合であり続けることです。調査結果では9割以上の組合員が総合事業を「継続すべき」、「どちらかといえば、継続すべき」との回答をしています。



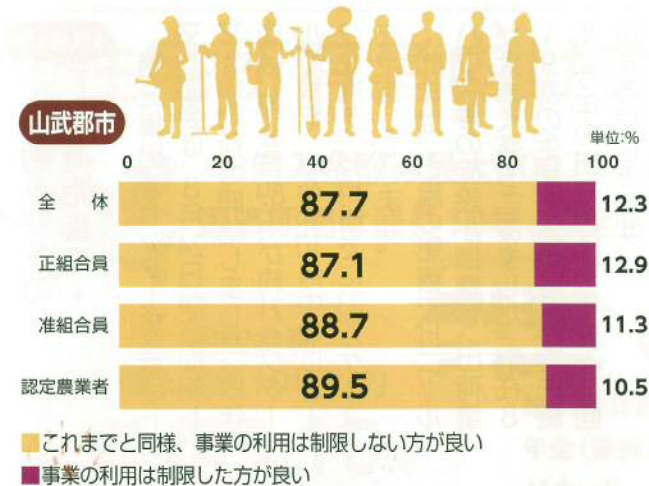
## JAの必要性

JAの必要性に関しては、正組合員の94.3%、准組合員の90.8%が「必要な存在」「どちらかといえば、必要な存在」と肯定的に回答をいただきました。認定農業者で「必要な存在」としている人が75.5%で「どちらかといえば、必要な存在」を加えると95.6%に上り、全体の平均を上回った結果になりました。



## 准組合員の事業利用制限

改正農協法では、令和3年3月末までに准組合員の事業利用制限を検討し、結論を得るとしていますが、組合員の約9割が「これまでと同様、利用制限はしない方が良い」と回答しています。



## JAの地域農業の振興や地域づくり活動

准組合員の皆さんに対する設問です。回答した准組合員のほとんどが、JAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと回答しています。



JA山武都市はこれからも、組合員・利用者・地域の皆さまとの対話を大切に、皆さまの声に基づいて地域に必要なサービスを提供し、利用いただくことで、農業と地域を支えてまいります。

JA山武都市のホームページでは、当JAの調査結果と千葉県全体の調査結果を掲載しています(右のQRコードからアクセスできます)。



特集

# 「JAの自己改革に関する組合員調査」

JA山武都市版 集計結果のご報告

JAグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、自己改革に取り組んでいます。これらの取り組みについて、組合員の皆さまからの評価をいただくため、平成30年12月から昨年12月まで、「JAの自己改革に関する組合員調査」を実施しました。このたび、皆さまからいただいた調査結果を、最終結果としてご報告いたします。

調査期間 平成30年12月～令和元年12月

調査対象者 JA山武都市管内の正・准組合員

回答者数

7,319人



本調査では、JA山武都市管内で7,319人(千葉県で11万7,401人、全国で390万2,603人)の組合員から回答をいただきました。組合員の皆さまには、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

## 自己改革への評価

～営農関連事業への「期待度」「満足度」「改善度」～

期待度



約7～8割が「期待している」

「営農関連事業への期待度」について、指導事業では83.3%、販売事業では77.8%、購買事業では74.3%が「期待している」「やや期待している」との回答をいただきました。

満足度



約6割が「満足」「やや満足」

「営農関連事業への満足度」は、指導事業で71.4%、販売事業で65.5%、購買事業では62.5%が「満足」「やや満足」との回答をいただきました。

改善度



約8割が「改善した」「もともと良い」

「営農関連事業への改善度」は、指導事業で88.1%、販売事業で87.5%、購買事業では85.2%が「改善した」「改善しつつある」「もともと良い」との回答結果でした。

	期待度		満足度		改善度	
	「期待している」「やや期待している」の合計		「満足」「やや満足」の合計		「改善した」「改善しつつある」「もともと良い」の合計	
	全国	山武都市	全国	山武都市	全国	山武都市
指導事業	80.7%	83.3%	66.7%	71.4%	83.9%	88.1%
販売事業	76.6%	77.8%	61.4%	65.5%	84.5%	87.5%
購買事業	72.6%	74.3%	60.6%	62.5%	84.3%	85.2%